

第106回 医師国家試験結果について

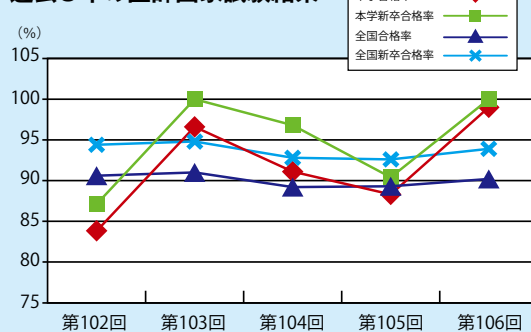
全国80大学中 医師国家試験合格率1位！

平成24年2月11日から13日にかけて実施された第106回医師国家試験において、本学学生は既卒者、新卒者総合で合格率99.0%となり、全国80大学中合格率1位となりました。

第106回 医師国家試験結果

	全国			本学		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
新卒者	7,590名	7,129名	93.9%	83名	83名	100.0%
既卒者	931名	559名	60.0%	13名	12名	92.3%
総数	8,521名	7,688名	90.2%	96名	95名	99.0%

過去5年の医師国家試験結果



教育担当 副学長
医学教育センター長
鈴木 敬一郎

第106回 医師国家試験の結果をうけて

第106回医師国家試験が実施されましたが、別表のように大変素晴らしい結果でした。新卒100%は予想外の好成績で、学生の皆さんの頑張りにまず敬意を表します。また既卒の合格率も大変素晴らしく、総数99%の合格率は国公立を含めても全国1位です。昨年度に比べて卒業判定が厳しかったのではないかと、と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実際はほぼ同じです。昨年も90%ではなく95%は少なくともあるつもりでしたが、結果は10名不合格という残念なものでした。今回はこの反省をもとに、卒業判定後から国家試験までの過ごし方について十分注意し、6年生の皆さんもこれにこたえて油断することなく頑張ってくれたからだと思います。最後は学生の皆さんのまともにも大変良くなったと思います。また直前合宿の学習内容も効果的で、試験本番でも6年生諸君は動揺することなく自信を持って受験できたのだと思います。この好成績はすべてが良い方向に向かった結果と感じています。反面、同じような卒業基準でも90%であったり100%であるわけで、大変微妙なところで合否が決まっており、国家試験のレベルの高さと指導の難しさを痛感しています。今回の結果は大変喜ぶべきことですが、留年した方もいるのは事実です。是非今年度は全員卒業、全員合格を目指したいと思います。

医師国家試験合格に向けての対策

本学では学生の自主性を重んじ勉強しやすい環境づくりを心がける一方、能力別クラス編成を実施し、きめ細やかな指導を行っています。以下にその特徴を記します。

① 学生の自主性の尊重とグループ学習

講義室での一方通行の全体講義を減らし、自学自習できる時間を十分与えています。学生の希望に沿ってグループ分けを行い、少人数によるグループ学習を奨励しています。

② 勉強しやすい環境整備

上記グループ毎に24時間利用可能な自習室を整備しています。ビデオ講義はいつでも見たい内容をネットで受講できます。

③ ペースメーカーとフィードバック

6年次臨床実習終了後、1週間ごとに分野別で模擬試験を行い、勉強の計画的な進捗を促しています。また問題についての解説講義を実施しています。

④ 合宿指導と個別指導

勉強が遅れている学生には春、夏、冬の休暇中を中心に合宿で指導をしています。また成績が伸び悩んでいる学生には医学教育センターで個別指導も行っています。

⑤ 選択型臨床実習とAdvanced OSCE

6年生は臨床技能についても仕上げる段階ですので、学内診療科、学外病院のうちでそれぞれ希望する2か所で選択型臨床実習を行います。診察法や患者説明などをテーマに実技試験(Advanced OSCE)も実施しています。臨床実地体験は国家試験にも役立ちます。

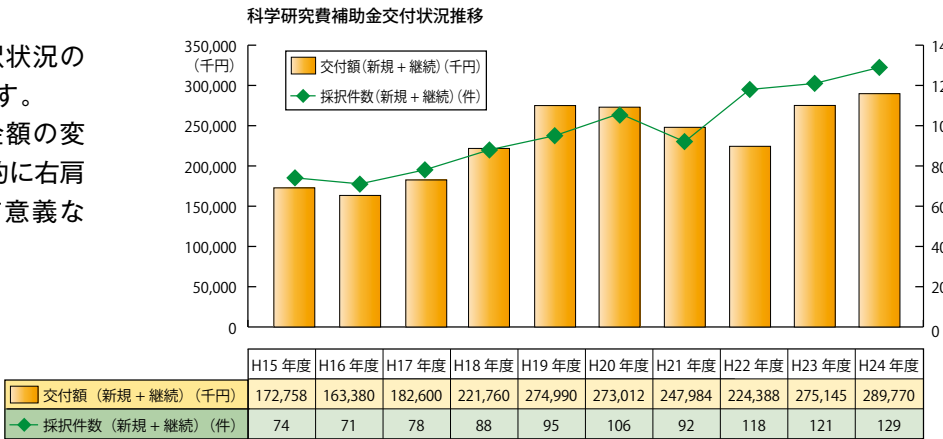
(単位：千円)

平成24年度 科研費交付内定一覧

平成24年度科研費(129件 総額289,770千円(うち直接経費222,900千円、間接経費66,870千円))の交付が下記のとおり内定されました。

なお、昨年度の交付額は121件 総額275,145千円(うち直接経費211,650千円、間接経費63,495千円)でした。

過去10年間の科研費採択状況の推移は右のグラフのとおりです。採択された研究内容により金額の変動はありますが、件数は全般的に右肩上がりとなっており、年々有意義な研究が行われています。



(単位：千円)

所 属	研究代表者	研 究 課 題 名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究 (A)				
免疫学・医動物学	中西 憲司	顆粒白血球の寄生虫感染宿主応答に及ぼす影響の解明	14,400	4,320
公衆衛生学	島 正之	出生コーホートを用いた妊娠中の大気汚染が妊娠及び出生児に及ぼす影響の解明	9,000	2,700
基盤研究 (B)				
解剖学 (神経科学部門)	野口 光一	神経障害性疼痛に関わる脊髄ニューロン・グリアの分子形態学的基盤	3,800	1,140
病原微生物学	筒井 ひろ子	インターロイキン33を標的としたヘリコバクターピロリ慢性胃病変の予防	4,400	1,320
公衆衛生学	島 正之	中国大都市における大気汚染の特性と健康影響に関する疫学研究	3,400	1,020
環境予防医学	若林 一郎	新しい血圧脈波検査を用いた末梢動脈疾患に関する疫学研究	6,900	2,070
遺伝学	振津 かつみ	劣化ウラン兵器の環境と健康への影響評価の現状と国際的規制に関する調査研究	2,000	600
病理学 (病院病理部門)	廣田 誠一	多様なレセプターチロシキナーゼ遺伝子変異の消化管間質腫瘍の病態への影響	5,200	1,560
外科学 (肝・胆・膵外科)	藤元 治朗	外科手術による癒着・線維形成過程の分子機構解析と制御法開発と探索医療への展望	4,200	1,260
リハビリテーション医学	道免 和久	脳卒中片麻痺上肢集中訓練CⅠ療法の神経基盤研究 (拡散テンソル画像による)	6,200	1,860
腫瘍免疫制御学	岡村 春樹	胃がん腹膜播種に対する新しい免疫細胞を用いた治療開発	3,800	1,140
先端医学研究所 (アレルギー・疾患研究部門)	善本 知広	IL-33と好塩基球によるアレルギー性鼻炎病態形成に関する研究	5,700	1,710
基盤研究 (C)				
物理学	福田 昭	2層量子ホール系における動的コストリッツアーウレス転移の研究	1,600	480
生物学	塚本 吉彦	網膜神経細胞の3次元再構築による形態的分類とシナプス結合の解析	400	120
生物学	池田 啓子	ブラコードと神経堤の細胞間相互作用を司る分子基盤の解明	1,200	360
情報学	藤原 康宏	オンライン・ピア・アセスメントにおけるトラスト・マネジメント	1,500	450
解剖学 (細胞生物部門)	前田 誠司	腎ネフロンに作用するアセチルコリンの分泌経路に関する研究	500	150
解剖学 (神経科学部門)	八木 秀司	神経細胞内ミオシン機能の新規制御機構の解明	1,100	330
解剖学 (神経科学部門)	山中 博樹	末梢神経損傷時の痛覚伝達経路でのL1-CAMのリン酸化と可塑的变化に対する影響	1,200	360
解剖学 (神経科学部門)	小林 希実子	末梢神経障害後の脊髄マイクログリアでのATP受容体-Rhoを介した形態変化の解析	1,500	450
解剖学 (神経科学部門)	福岡 哲男	GDNFを介した後索核経由の神経障害性疼痛のメカニズム解明	1,700	510
生理学 (生体機能部門)	平田 豊	TRPチャネル発現グリア細胞が担う中枢性呼吸調節機構の解明	1,500	450
生化学	鈴木 敬一郎	認知機能や情動行動に及ぼす酸化ストレスの影響	1,400	420
生化学	藤原 範子	新規モノクローナル抗体を用いた変異SOD1の構造解析とALS免疫療法の開発	1,300	390
薬理学	竹村 基彦	拘束水浸ストレスによる胃粘膜ヒスタミンの代謝変動	600	180
病原微生物学	林 周平	ヒトヘルペスウイルス6増殖におけるS100A8/S100A9の役割	1,300	390
免疫学・医動物学	松本 真琴	糞線虫排除におけるIgEの役割に関する研究	600	180
公衆衛生学	谷村 晋	大気汚染の健康影響評価のための曝露推計モデルの開発：兵庫県学童コホートへの適用	900	270
公衆衛生学	唐 寧	アジアングストの大気中二次生成有機有害化学物質への触媒作用に関する研究	2,200	660
環境予防医学	丸茂 幹雄	飲酒の抗血栓作用に関連する血小板TRPチャネルの分子機構	700	210
法医学	西尾 元	不整脈源性右室心筋症原因遺伝子変異は胸腺リンパ体質の分子モデルか	600	180
遺伝学	玉置 知子	日本人悪性上皮腫に高頻度で見出された3p領域欠損の機能解析と診断への応用	1,900	570
遺伝学	中野 芳朗	Gorlin症候群由来細胞を用いたヘッジホッグ情報伝達系の解析	2,200	660

所 属	研究代表者	研 究 課 題 名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
遺伝学	久保 秀司	腫瘍溶解アデノウイルスを用いた悪性上皮腫に対する新規治療法の開発	1,100	330
遺伝学	吉川 良恵	抜去した毛包由来幹細胞によるオーダーメイド医療のための基礎研究	700	210
遺伝学	岡野 善行	グルタメイト脱水酵素素異常症モデルマウスによる病態解明と治療法の開発	1,600	480
病理学(機能病理部門)	寺田 信行	ヒストン脱アセチル化及び遺伝子メチル化阻害剤による骨肉腫細胞抗癌剤耐性誘導の抑制	2,200	660
病理学(機能病理部門)	大山 秀樹	インターロイキン22を用いた新しい歯周組織再生療法開発のための基礎的研究	1,300	390
病理学(機能病理部門)	山田 直子	インターロイキン18関連がん転移抑制因子の同定とその機構の解明	1,300	390
病理学(分子病理部門)	辻村 亨	悪性胸膜中皮腫の進展・浸潤メカニズムの解析：病理診断への応用と新規治療法の開発	1,200	360
病理学(分子病理部門)	鳥井 郁子	疾患モデルを用いた腸管粘膜の免疫調節機構の解明：制御細胞の機能解析	1,700	510
病理学(分子病理部門)	佐藤 鮎子	細胞接着分子CD146に着目した悪性胸膜中皮腫の早期診断と病態の解明	1,700	510
内科学(循環器内科)	増山 理	心腎腎血連関ネットワークの解析と新規治療戦略の開発	1,600	480
内科学(血液内科)	小川 啓恭	ヒト白血球抗原半合致移植の成立機序の解析	1,600	480
内科学(肝・胆・膵科)	西口 修平	ウイルス消失例からの肝癌発症の臨床病態と発がん予測因子の同定	800	240
内科学(肝・胆・膵科)	榎本 平之	肝癌由来増殖因子の血管新生と肝癌増殖における役割の検討	1,500	450
内科学(内分泌・代謝科)	小山 英則	肥満・動脈硬化における終末糖化産物受容体を介した炎症シグナルの意義	1,300	390
内科学(上部消化管科)	渡 二郎	日米共同研究によるバレット食道の発生ならびに抑制機序の解明	1,100	330
内科学(上部消化管科)	大島 忠之	胃癌の発生と進展におけるタイト結合蛋白クロードインの機能解析	800	240
内科学(上部消化管科)	福井 広一	Reg蛋白の消化管粘膜保護作用に関する研究	900	270
内科学(呼吸器・RCU科)	田端 千春	肺線維症などの難治性肺疾患に対する新規治療開発	1,400	420
内科学(神経・脳卒中科)	木村 卓	筋強直性ジストロフィー症における中枢神経スプライシング異常の分子機序の解明	400	120
内科学(腎・透析科)	野々口 博史	パゾプレッシンV1a受容体によるアルドステロン受容体核内輸送機構の解明	1,300	390
放射線医学	廣田 省三	胃静脈瘤に対するB-RTO後の肝機能改善のメカニズムの解明	700	210
放射線医学	上紺屋 憲彦	ハイスク放射線治療患者での直腸粘膜障害の予防と治療ー亜鉛製剤の設計と評価ー	1,400	420
精神科神経科学	松永 寿人	強迫性障害の新規分類基準の生物学的妥当性、臨床的有用性に関する検討	500	150
皮膚科学	山西 清文	魚鱗瘡様紅皮症の病態に関する研究	1,300	390
外科学(肝・胆・膵外科)	飯室 勇二	肝組織の恒常維持・修復機構における中心的存在としての肝星細胞の役割解明とその応用	1,000	300
外科学(肝・胆・膵外科)	平野 公通	肝臓脈管侵襲・進展に関与する分子の探索および制御法の開発	1,200	360
外科学(肝・胆・膵外科)	杉本 貴昭	肝静脈還流障害による肝再生病態の分子解析と治療アプローチに関する研究	900	270
外科学(肝・胆・膵外科)	宇山 直樹	Plakin Family蛋白発現制御による肝内胆管癌治療戦略	1,500	450
外科学(上部消化管外科)	笹子 三津留	上皮間葉系細胞分化転換関連分子を標的とする新しい胃がん腹膜転移治療法の開発	1,300	390
外科学(下部消化管外科)	富田 尚裕	スプライシング因子阻害剤とヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の併用効果の検討	1,300	390
外科学(下部消化管外科)	松原 長秀	炎症を母地とする非定型消化器癌の発癌機構の解明と早期診断バイオマーカーの開発	1,100	330
外科学(下部消化管外科)	久野 隆史	散在性大腸癌発生における塩基除去修復遺伝子MYHの関与の解明と臨床応用への展開	1,000	300
外科学(下部消化管外科)	山野 智基	ケモカインCCL21と腫瘍溶解アデノウイルスを用いた新しい癌ワクチン療法の開発	1,300	390
産科婦人科学	小森 慎二	新鮮及び凍結卵巣由来の未熟卵の無血清培地による体外培養法確立を目指した基礎的検討	900	270
整形外科	越谷 博之	骨肉腫の化学療法と免疫療法の有効性向上に関する研究	1,100	330
泌尿器科学	山本 新吾	動物モデルを使った尿路病原性大腸菌のキノロン耐性誘導機序の解明	1,200	360
脳神経外科学	泉本 修一	WT1免疫療法における脳局所の抑制系・促進系免疫機序の解明と抑制克服法の開発	1,300	390
眼科学	三村 治	甲状腺眼症の病態解明と新規治療法の確立	2,000	600
呼吸器外科学	松本 成司	悪性胸膜中皮腫における抗IL-6受容体抗体療法の開発	1,000	300
麻酔科学	多田羅 恒雄	侵襲時におけるヒドロキシエチルデンプン製剤の血管内皮糖鎖構造の保護効果	1,200	360
歯科口腔外科学	野口 一馬	invitro発がんモデルを用いた口腔がん発生機構の解析	900	270
歯科口腔外科学	高岡 一樹	組織内微小環境因子を標的とした骨治癒促進効果	1,200	360
歯科口腔外科学	森寺 邦康	癌幹細胞と微小環境(ニッチ)および間質線維芽細胞(CAF)の相互作用に関する研究	1,100	330
臨床検査医学	小柴 賢洋	アデノシンデアミナーゼ阻害剤による関節リウマチの新規治療開発	800	240
医療情報学	宮本 正喜	オントロジ技術を用いた内視鏡診断学習システムの開発	3,600	1,080
超音波センター	田中 弘教	造影超音波による進行肝癌に対する分子標的薬の早期効果判定法の開発	700	210
核医学・PETセンター	今泉 昌男	マルチモダリティーを用いた免疫グリア細胞のイメージング研究	1,000	300
輸血部	藤盛 好啓	Srcファミリーキナーゼの悪性腫瘍進展での役割の解析と治療への応用	1,500	450
病院病理部	羽尾 裕之	大動脈瘤の病理組織学的病態解明と新規治療の開発	1,700	510
病院病理部	磯崎 耕次	カハールの介在細胞による消化管蠕動運動の制御機構の解析	1,200	360
先端医学研究所(細胞・遺伝子治療部門)	後藤 章暢	難治性膀胱癌に対するキメラ型細胞融解性ベクターを用いた新規治療法の開発	1,300	390

(単位：千円)

所 属	研究代表者	研 究 課 題 名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
挑戦的萌芽研究				
解剖学(神経科学部門)	野口 光一	神経障害性疼痛におけるDRG遺伝子発現の新規制御因子	1,600	480
生理学(生体機能部門)	越久 仁敬	グリア細胞が呼吸をトリガーするー新パラダイムの検証	700	210
病原微生物学	筒井 ひろ子	劇症肝炎の責任病態である肝局所DICの細胞・分子メカニズムの解析	1,400	420
環境予防医学	若林 一郎	新しいペプチドーム解析法を用いた飲酒による血圧変動起因物質の探索	2,200	660
医学教育学	成瀬 均	スキルスラボを用いた多職種医療人に対する医療安全教育と実技試験	900	270
外科学(肝・胆・膵外科)	藤元 治朗	仮説「血液凝固・IFNγ・PAI-1は肝線維化・発癌機構を制御する」の提唱と検証	1,300	390
外科学(上部消化管外科)	前山 義博	高度侵襲時における腸管機能不全の免疫学的機序解明と新規治療法の開発	1,700	510
泌尿器科学	兼松 明弘	乳児排尿測定装置の開発	1,200	360
救急・災害医学	小谷 穰治	高度侵襲下のインスリン抵抗性に関するIL-18の影響と雌雄差の検討	1,400	420
実践医療コミュニケーション学	森藤 ちひろ	コーチングを用いたコミュニケーション・スキルの自己学習支援システムの開発	1,200	360
先端医学研究所(神経再生研究部門)	中込 隆之	脳傷害誘導性神経幹細胞の血管分化能に関する検討	1,000	300
先端医学研究所(アレルギー疾患研究部門)	善本 知広	IL-33によるアルツハイマー病発症機序の解析	1,500	450
新学術領域研究				
解剖学(神経科学部門)	野口 光一	脂質メディエーター特にロイコトリエンによる疼痛伝達制御機構	3,100	930
若手研究(B)				
数学	大門 貴志	抗がん剤の用量探索研究のデザイン及び統計的推測法の開発	1,000	300
化学	江壽 啓祥	新規パラジウム触媒の機能性開発研究	1,700	510
解剖学(細胞生物部門)	大谷 佐知	下垂体の水分バランス調節におけるアクアポリンの役割解明	1,200	360
生化学	崎山 晴彦	転写因子ChREBPを標的とした生活習慣病病態の解析	1,300	390
生化学	江口 裕伸	新規糖尿病マーカーとしてのニトロ化IL-18の評価とELISAの確立	1,600	480
薬理学	長野 貴之	ミクログリアの細胞機能調節によるアルツハイマー病治療の検討	1,000	300
病原微生物学	内山 良介	I型インターフェロンによる脾臓辺縁帯環境の制御を中心とした肺炎球菌感染防御機構	1,400	420
免疫学・医動物学	安田 好文	抗ハプテンIgEによるアレルゲン多様化モデルの検討	1,300	390
環境予防医学	東山 綾	多価不飽和脂肪酸と新しい腎機能指標の関連ー都市・農村部住民での断面・縦断的検討ー	1,900	570
法医学	内海 美紀	慢性覚せい剤投与の線状体・側坐核に及ぼす影響と精神病形成のメカニズム	900	270
病理学(機能病理部門)	山根木 康嗣	ヒストン脱アセチル化阻害剤およびDNAメチル化阻害剤を用いた腫瘍血管新生抑制	1,500	450
内科学(リウマチ・膠原病科)	関口 昌弘	人工抗体を用いた滑膜増殖の制御	1,400	420
内科学(リウマチ・膠原病科)	北野 将康	関節リウマチの骨破壊に対するSP/SIP1シグナルの役割	1,400	420
内科学(上部消化管科)	近藤 隆	慢性ストレス誘発性のラット消化管知覚過敏モデルの作成と中枢性オキシトシンの効果	1,300	390
精神科神経科学	林田 和久	DSM-5のチェック関連性強迫性障害の妥当性、信頼性、臨床的有用性に関する検討	1,000	300
皮膚科学	羽田 孝司	アレルギー性皮膚疾患におけるnuocyteの免疫学的解析	900	270
皮膚科学	今井 康友	IL-27による炎症性皮膚疾患の治療的役割の解析	1,600	480
外科学(小児外科)	野瀬 聡子	骨髄間葉系幹細胞は組織腸管上皮幹細胞を支配するの か	1,300	390
形成外科学	曾束 洋平	レーザー光による骨切り後の骨癒合の研究	1,400	420
形成外科学	藤田 和敏	酸化ストレスが創傷治癒、肥厚性瘢痕形成に与える影響について	1,700	510
形成外科学	石瀬 久子	機械的伸展刺激が肥厚性瘢痕・ケロイドを発生させるメカニズムの解明	1,800	540
耳鼻咽喉科学	宇和 伸浩	頭頸部癌におけるケモカインレセプターと癌幹細胞マーカー	1,100	330
耳鼻咽喉科学	任 智美	ヒトの舌知覚閾値測定	2,200	660
呼吸器外科学	橋本 昌樹	大腸癌肺転移切除例における末梢血液中循環腫瘍細胞および内皮細胞の臨床的意義の検討	800	240
歯科口腔外科学	長谷川 陽子	味や香りが異なる食品の咀嚼によって生じる脳および全身の変化についての検討	1,200	360
歯科口腔外科学	頭司 雄介	口腔がん幹細胞モデル細胞株の樹立とがん幹細胞を標的とした治療法の開発	1,600	480
歯科口腔外科学	瀬川 英美	口腔癌細胞におけるEMTマーカーとしてのZyxinの発現および機能について	1,500	450
救命救急センター	尾迫 貴章	エンドトキシン血症肺毛細血管モデルにおけるヒスタミン受容体発現と血管透過性の関係	1,700	510
ペインクリニック部	恒遠 剛示	モルヒネ慢性投与下におけるベンゾジアゼピン感受性増強の関連性の解明	1,600	480
先端医学研究所(細胞移植部門)	江口 良二	免疫抑制剤による血管内皮障害の分子機序の解明	700	210
先端医学研究所(神経再生研究部門)	土江 伸誉	うつ病の発症脆弱性規定因を検討可能な行動科学的動物モデルの確立	2,000	600
先端医学研究所(アレルギー疾患研究部門)	松下 一史	肺を起点としたアレルギー疾患発症機構の解明	2,100	630
計 (129件)			222,900	66,870
			289,770	

平成24年度 科研費(奨励研究) 交付内定一覧

(単位：千円)

所 属	研究代表者	研 究 課 題 名	交付内定額	
			直接経費	間接経費
奨励研究				
呼吸器外科学	米田 和恵	原発性肺癌における末梢血循環腫瘍細胞は造腫瘍能を持つのか？	600	0
リハビリテーション部	若杉 樹史	造血幹細胞移植後患者の筋有酸素能の評価	700	0
先端医学研究所 (神経再生研究部門)	土居 亜紀子	虚血誘導性神経幹細胞と血管内皮細胞の共培養法の応用	600	0
学務部	稲森 里江子	医療職者のための傾聴トレーニング法の開発および学習効果測定の研究	400	0
研究技術第一課	足立 伸行	生体試料中からの親水性有機リン系農薬の抽出・分析方法の確立	600	0
計 (5件)			2,900	0
			2,900	

平成24年度 厚生労働科学研究費補助金交付内定一覧

(単位：千円)

研究事業名	所 属	研究代表者	研 究 課 題 名	交付内定額	
				直接経費	間接経費
がん臨床	内科学(呼吸器・RCU科)	中野 孝司	切除可能悪性胸膜中皮腫に対する集学的治療法の確立に関する研究	14,616	4,384
がん臨床	外科学(上部消化管外科)	笹子 三津留	治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究	19,616	5,884
難治性疾患克服	産科婦人科学	澤井 英明	致死性骨異形成症の診断と予後に関する研究	7,200	2,160
計 (3件)				41,432	12,428
				53,860	

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位：千円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(公財)内藤記念科学振興財団	出生前後における呼吸中枢神経系ネットワーク構築機構の解明	池田 啓子	3,000
(財)母子健康協会	骨肉腫肺転移 in vivo imaging モデル動物の作製と先端治療開発への応用	久保 秀司	1,500
(公財)日本応用酵素協会	ヘルペスウイルススチミジンキナーゼを用いた癌自殺遺伝子治療を最適化する腫瘍融解ウイルスの開発	久保 秀司	500
(公財)ソルト・サイエンス研究財団	食塩感受性高血圧に対する鉄制限の効果とその分子機序の解明	内藤 由朗	950
(財)日中医学協会	循環器疾患の病態に関与する新規バイオマーカーの探索	羽尾 裕之	800
計 (5件)			6,750

学位授与

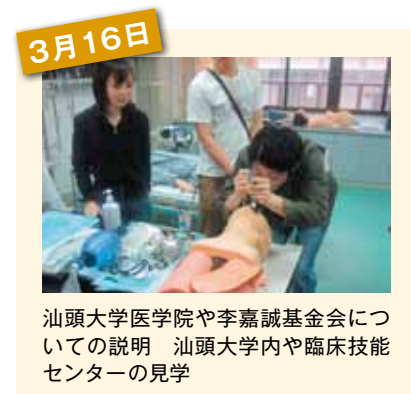
氏 名	専 攻	博 士 論 文 名	報告番号	授与年月日
やなもと ふじお 柳本 富士雄	疼痛制御科学	The effects of temporary spinal cord stimulation (or spinal nerve root stimulation) on the management of early postherpetic neuralgia from one to six months of its onset	乙第340号	H24.5.10

■ 汕頭大学医学院 留学報告

平成24年3月15日から22日にかけて8名の学生が中国広東省にある汕頭大学医学院へ留学しました。本学と汕頭大学医学院は平成11年11月に学術交流に関する協定を結んで以来、教員の招聘、共同研究の推進などを通して交流を深めており、平成21年からは、本学学部学生の研修留学が開始されました。3回目となる今回は、1年生から5年生(留学当時の学年)の学生が参加しました。



前列右から 2年 佐藤 彰記さん、2年 岡田 薫佳さん
5年 福井 美穂さん、4年 西山 正行さん、4年 志村 雄飛さん
後列右端 4年 藤原 康弘さん
後列左から 1年 小泉 宣さん、2年 鈴木 智大さん(留学当時の学年)



汕頭大学医学院や李嘉誠基金会についての説明 汕頭大学内や臨床技能センターの見学



農村地域にて医療ボランティアを行う



潮州観光。白内障センター見学



ホスピスでの活動に参加 汕頭大学の学生と交流



第2附属病院(口唇口蓋裂治療センター、感染症科)、精神科病院、眼科センター見学



第1附属病院(産科・婦人科、手術室、救急科、CT・MRI室)見学

※ 3月15日、22日は移動日。

汕頭大学医学院への留学を終えて



留学生を代表して 岡田 薫佳さん

汕頭での留学中、世界から見た日本について、汕頭の学生達と討論する機会が多くあり、私の考えと大きな差があることに驚きました。自分自身の意見をしっかりと持ち、英語を使って、それを相手に明確に伝えることはとても難しく、また、世界のことを知っていてこそ、日本の良い点や悪い点を話し合うことができるのだと感じました。

汕頭では、多くの先生方に中国の医療について教えていただき、また、様々な施設を見学させていただいて、これからの発展の可能性を大きく感じる一方で、日本の医療の素晴らしさを改めて感じる事ができました。

今後、汕頭での経験を活かし、少しでも多くの方により良い医療を行えるよう、さらに一生懸命、医学を学んでいきたいと思ひます。

■ 平成25年度兵庫医科大学入学試験・オープンキャンパス日程

■ 入学試験

一般公募制推薦入学試験

試験日	平成24年11月11日(日)
募集人員	約15名
出願期間	平成24年10月24日(水)～平成24年11月5日(月)必着

センター試験利用入学試験

第1次試験	大学入試センター試験日【平成25年1月19日(土)、20日(日)】
第2次試験	平成25年2月20日(水)
募集人員	約15名
出願期間	平成24年12月17日(月)～平成25年1月18日(金)消印有効

地域指定制推薦入学試験

試験日	平成24年11月11日(日)
募集人員	5名以内
出願期間	平成24年10月24日(水)～平成24年11月5日(月)必着

一般入学試験

第1次試験	平成25年1月23日(水)
第2次試験	平成25年2月2日(土)または3日(日) ※出願時に希望日を選択
募集人員	約75名
出願期間	平成24年12月17日(月)～平成25年1月15日(火)消印有効

■ オープンキャンパス

第1回 平成24年8月3日(金) 13:00～16:15

第2回 平成24年8月30日(木) 13:00～16:15

受付	12:30～13:00 兵庫医科大学 西宮キャンパス 3号館 4階 3-3講義室前
内容	大学説明(3日のみ) 入試概要説明 医学部入試動向について[予備校進学アドバイザー](30日のみ) 模擬講義(3日のみ) キャンパス見学 体験コーナー 個別相談 ビデオ放映 在学生との交流コーナー 学生生活ポスター展示

※開催日によりイベント内容が異なります。ご注意ください。



■ 相談会

日時	場所	会場	相談会名
7月8日(日)	名古屋	名古屋国際会議場(1号館1Fイベントホール)	全国国公立・有名私大相談会2012
7月16日(月・祝)	東京	池袋サンシャインシティ(文化会館2F展示ホールD)	全国国公立・有名私大相談会2012
7月21日(土)	大阪	大阪国際会議場(3Fイベントホール)	全国国公立・有名私大相談会2012
7月26日(木)	福岡	ガーデンシティ博多	私立医科系大学進学相談会2012
7月27日(金)	栃木	獨協医科大学	私立医科大学合同入試説明会・相談会
7月29日(日)	横浜	パシフィコ横浜(展示ホールB)	全国国公立・有名私大相談会2012
7月29日(日)	大阪	大阪医科大学	私立医科大学合同入試説明会・相談会
7月31日(火)	広島	広島ガーデンパレス	私立医科系大学進学相談会2012
8月4日(土)	石川	金沢医科大学	私立医科大学合同入試説明会・相談会
8月9日(木)	大阪	新大阪ブリックビル	私立医科系大学進学相談会2012
8月16日(木)	名古屋	ミッドランドホール	私立医科系大学進学相談会2012
9月22日(土・祝)	東京	東邦大学	私立医科大学合同入試説明会・相談会
9月29日(土)	大阪	大阪城ホール内 東側 城見ホール	全国医歯薬科大学受験相談会
10月13日(土)	東京	新宿エルタワー30F サンスカイルーム	全国医歯薬科大学受験相談会



詳しくは入試課へお問い合わせください。

学務部 入試課 TEL: 0798-45-6162 E-Mail: nyushi@hyo-med.ac.jp

国家試験合格に向けて

兵庫医療大学では今年3月、看護学部、リハビリテーション学部の2期生の卒業を迎えました。また今年度は薬学部1期生が卒業年度を迎え、兵庫医療大学の学生としてはじめて薬剤師国家試験に挑みます。国家試験合格は医療人への第一歩。全ての学生がその一歩を踏み出せるよう、さまざまな対策を行っています。

平成23年度 国家試験結果

第101回 看護師国家試験 試験日：平成24年2月19日
第98回 保健師国家試験 試験日：平成24年2月17日
第95回 助産師国家試験 試験日：平成24年2月16日
平成23年度

	全国			本学		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
看護師 新卒者	49,336名	46,928名	95.1%	94名	93名	98.9%
新卒者	14,528名	12,963名	89.2%	94名	89名	94.7%
保健師 既卒者	1,230名	592名	48.1%	10名	5名	50.0%
助産師 新卒者	2,064名	1,982名	96.0%	8名	7名	87.5%

第47回 理学療法士国家試験・第47回 作業療法士国家試験
平成23年度 試験日：平成24年2月26・27日

	全国			本学		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
理学療法士 新卒者	11,956名	9,850名	82.4%	31名	31名	100.0%
既卒者				2名	2名	100.0%
総数	11,956名	9,850名	82.4%	33名	33名	100.0%
作業療法士 新卒者	5,821名	4,637名	79.7%	37名	35名	94.6%
既卒者				2名	2名	100.0%
総数	5,821名	4,637名	79.7%	39名	37名	94.9%

看護学部



学部長
竹田 千佐子

看護学部では、看護師・保健師は全員、助産師は選択者が受験資格を得ることができますので、一度に2つまたは3つの国家試験を受験することになります。平成23年度看護学部の国家試験合格率は、100%には至りませんでしたが、総合的にみて高い合格率です。看護学部の国家試験合格に向けての取り組みは、国家試験研究会(学生会・教員部会)が中心となって行っています。学生会は、学生の学習状況を把握して国家試験までの学習目標を設定し、模擬試験や外部講師による特別対策講座、学内教員による補講等を企画しています。教員部会は学生の自主的な活動をサポートすることが主な役割であり、国家試験の学習方法や対策に不安を感じている学生に、適宜、個別相談を実施しています。

リハビリテーション学部



学部長
藤岡 宏幸

平成23年度の本学部の国家試験合格率は、理学療法学科100%(新卒者、既卒者とも)、作業療法学科94.9%(新卒者94.6%、既卒者100%)と、全国的な合格率(約80%)を大きく上回る好成績を納めることができました。

平成24年度の国家試験に向けて、例年同様、学部長と教員4名(各学科それぞれ2名)による国家試験対策担当者が中心になり、学部全体で高合格率達成に向けて取り組んでいます。特に、苦手分野克服のための集中講義や学生個人に応じた学習方法の指導などを充実していく予定です。

また、近年の国家試験問題は診療現場に関連した設問も多く、普段の実習などの取り組みが非常に重要であることを学生にも指導しております。兵庫医科大学病院やささやま医療センターをはじめ、実習などでお世話になっている施設の先生方には、今後ともよろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

薬学部



学部長
東 純一

薬学部第一期生も、いよいよ国家試験を受験します。薬学部では5年次から研究実習(卒研)が始まりますが、実務実習へ行っていない学生には研究室ごとに国試対策勉強会を開催したり、国家試験対策委員会が主催する国試対策演習会を実施したりしています。6年次には、研究研修・チーム医療研修の卒研の間を縫って、前期には国家試験対策の実践演習を行います。

新制度国家試験では、症例に基づいた問題(複合問題)が多く出題されます。そのため全教員が参加する「複合問題作成コアグループ」を組織し、予想複合問題集を作成して学生に配布し、教員の認識を高めつつ「学生とともに汗をかく」取り組みも行っています。夏休みや正月休みには、一部学生を対象とする特訓を行います。このような努力が実を結び、来春にはすべての学生の笑顔が見られるようになって欲しいものです。

第5回欧州研修報告

平成24年5月18日M106講義室において、第5回欧州研修の報告会が開催されました。第5回欧州研修は平成24年3月12日から23日に実施され、看護学部1年生2名、2年生8名、3年生4名の計14名が参加しました。報告会は、学生主体で運営され、デンマークの医療制度について事前学習で調べたことや、現地の医療・福祉施設や教育関連施設で、学生が体験・学習した成果について報告されました。



第5回欧州研修スケジュール

- 1日目 レクチャー 「デンマーク王国の概要」・「教育制度」・「医療、福祉について」等
- 2日目 ①重症心身障害者入居施設 ②オーデンセ大学病院触法精神科
- 3日目 ①高齢者センター ②幼稚園 ③家庭医
- 4日目 ①看護大学 ②ミドルファード病院 地域精神医療班
- 5日目 コペンハーゲン市内生活探索
- 6日目 コペンハーゲンからバリを経由し、ブルージュヘ
- 7日目～9日目 医療博物館見学と異文化探索



参加者は様々な施設での研修を通し、「デンマークでは施設に入居している人たちがとてもいきいきとしていました。入居者と、看護師や家族はみな対等であり、相手の人生観を理解することが大切だと感じました。後期から始まる実習では、治療によって日常生活が制限されている対象者に対して、その中でも個人の権利をいかに尊重していくかという事を考えながら関わっていききたいと思います」、「今回の欧州研修で、デンマークの豊かな福祉を見て、日本の医療・福祉の問題点や課題が明らかとなりました。就職し臨床の現場に出ても、日本のことだけを見るのではなく、海外の動向にも目を向けて学び続けることが重要であることを感じました。現状に満足するのではなく、広い視野を持ち、より良い看護を提供していけるよう看護師として学ぶ姿勢を忘れないようにしたいと思います」と報告をまとめていました。

報告会に参加した教員からは「文化が違うからできないではなく、違う中でもどうしていったらよくなるか、政治までも見据え、日本の医療・福祉について考えを深めてほしい」というアドバイスがありました。欧州研修では海外の医療・福祉を体験することができ、今後の学習意欲が刺激され、とても貴重な経験となったようです。

第6回も開催予定ですので、看護学部のみならず薬学部・リハビリテーション学部の学生の皆さんも興味のある方はぜひ参加を検討してみてください。



第3回学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会

看護学部とリハビリテーション学部の4年生を主として、薬学部も含めた全学部・全学年の学生(希望者)を対象に、平成24年4月28日、第3回学校法人兵庫医科大学連携病院の会合同病院説明会が本学体育館アリーナにおいて開催されました。薬学部167名、看護学部61名、リハビリテーション学部理学療法学科56名、作業療法学科29名、計313名の学生が参加しました。

学校法人兵庫医科大学連携病院の会は、本法人と連携病院が人事の交流により相互の活性化を促進し、組織的な連携を強めることと、効率的で有効な学生教育に資することや地域医療の向上に寄与することなどを目的とし、平成21年に発足したものです。

来春、薬剤師、看護師、理学・作業療法士採用を予定している兵庫・大阪の55病院にお集まりいただき、病院説明を行っていただきました。体育館アリーナに各病院のブースを設け、参加する学生はそれぞれのブースをまわって、病院の基本情報や特色、理念や教育システムの特徴など、熱心に質問をしながら説明を聞いていました。

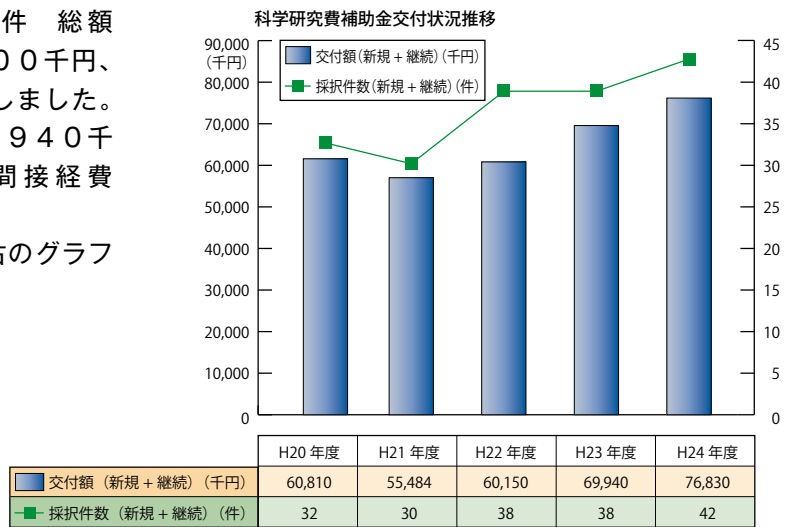
1つの大学にこれだけの数の病院が一堂に会することはあまりありません。卒業生が就職し活躍している病院もあり、参加した学生たちは、卒業生の活躍する様子などを聞くことにより、早い段階から自身のキャリアについて考える機会となりました。



平成24年度 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金) 交付内定一覧

下記のとおり、平成24年度は42件 総額76,830千円(うち直接経費59,100千円、間接経費17,730千円)の交付が内定しました。なお、平成23年度は38件 総額69,940千円(うち直接経費53,800千円、間接経費16,140千円)でした。

過去5年間の科研費採択状況の推移は右のグラフのとおりです。



(単位:千円)

研 究 課 題 名	所属部局	研究代表者	交付内定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究（Ｂ）				
乳がん早期発見のための乳房セルフケア促進プログラムの開発と妥当性の検討	看護学部	鈴木 久美	2,100	630
遺伝子多型情報に基づくワルファリンの適正投与量設定へ向けた前向き臨床試験	薬学部	東 純一	4,200	1,260
集団感染予防のための環境を汚染しない陰部洗浄とおむつ交換技術の開発	看護学部	土田 敏恵	1,800	540

(単位:千円)

研究課題名	所属部局	研究代表者	交付内定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究(C)				
在宅嚥下リハビリテーションのEBMの確立ー高齢者の誤嚥性肺炎予防プログラムの構築	リハビリテーション学部	野崎 園子	1,200	360
ラジカル種の特性を活用した合成法開拓の新展開	薬学部	宮部 豪人	900	270
疾患による免疫系の活性化が肝薬物代謝酵素の機能に及ぼす影響	薬学部	九川 文彦	400	120
血小板減少症治療薬インターロイキン-11を用いた有効な心不全発症予防療法の確立	薬学部	前田 真貴子	1,000	300
シスプラチン腎障害のメカニズム解明とその軽減に向けた薬物療法の創出	薬学部	上田 晴康	600	180
高内皮細静脈特異的な細胞動員シグナルによる自然免疫と獲得免疫を繋ぐ細胞動態制御	薬学部	田中 稔之	1,000	300
薬物輸送通路の解明ートランスポーターとギャップ結合の関連ー	薬学部	三浦 大作	700	210
肥満と活性酸素：メタボリック症候群と動脈硬化の病態に対するSODの関与	薬学部	大河原 知水	500	150
転移性肝がん患者への原発がん手術の体験を反映させた周手術期看護援助方法の考案	看護学部	小西 美ゆき	1,100	330
メンタルヘルス不全により休職した看護師の実態調査及び復職支援ツールの開発	看護学部	富永 真己	1,100	330
神経因性疼痛における新規Kチャンネルと交感神経の役割に関する研究	薬学部	山本 悟史	1,000	300
光切断リンカー付アフィニティ樹脂を用いた汎用的な生理活性物質探索法の開拓	薬学部	田中 明人	1,600	480
臨床検体に基づく実践的生体分子を標的とする天然由来分子標的抗がん剤の探索	薬学部	青木 俊二	1,000	300
膜破壊型殺菌消毒剤を活用した細菌の多剤耐性獲得に関する転写調節因子の分子機構解明	薬学部	前田 拓也	500	150
ペインセンサーTRPA1のチャンネル活性抑制メカニズムの解明	薬学部	戴 毅	1,200	360
規則性ナノ空間光触媒の創製とラジカル化学的CO2固定化反応への展開	薬学部	甲谷 繁	2,600	780
HGFディスプレイ乳酸菌によるGVHDの制御	薬学部	岩崎 剛	2,100	630
炎症性腸疾患薬のファーマコゲノミック・バイオマーカーの機能的探索及び活用法の提案	薬学部	大野 雅子	2,200	660
慢性心不全における鉄代謝異常の検討	薬学部	辻野 健	1,600	480
慢性閉塞性肺疾患患者の急性増悪の予防・対処行動に関する測定尺度の開発	看護学部	松本 麻里	1,600	480
父親・母親に対する産後うつ病予防統合プログラムの開発	看護学部	西村 明子	900	270
色弱に配慮した服薬安全に資する「服薬トレー」の開発研究	薬学部	石崎 真紀子	1,900	570
医療過誤防止と服薬アドヒアランス向上に資する医療品カラーデザイン戦略の確立	薬学部	前田 初男	1,600	480
定常型社会におけるケアとそのシステム	共通教育センター	紀平 知樹	1,200	360
挑戦的萌芽研究				
関節拘縮予防のための安全な他動運動の実施に関する研究	リハビリテーション学部	日高 正巳	400	120
新規ミトコンドリア融合抑制因子HPGBによる心臓／代謝機能制御の同定	副学長	馬場 明道	1,000	300
サーモグラフィを手法とした感染制御のための発熱判定ガイドラインの構築	薬学部	芝田 宏美	800	240
C型肝炎患者の治療中のセルフマネジメントを促すグループ介入プログラムの効果の検証	看護学部	鈴木 久美	700	210
miRNA発現プロファイルを用いた肝薬物代謝能の変動予測	薬学部	森家 望	1,500	450
コーチングソフトウェアを用いた「見て、気づき、考える」車椅子移乗技術指導への挑戦	看護学部	増田 富美子	1,300	390
フィジカルアセスメント能力を高める協働学習型シミュレーション教育システムの開発	看護学部	網島 ひづる	1,500	450
若手研究(A)				
微弱電流刺激のエビデンスを創造する	リハビリテーション学部	坂口 顕	2,100	630
若手研究(B)				
PKC-ε選択的活性化による新規抗認知症治療剤創製と新規ターゲット探索	薬学部	清水 忠	1,200	360
人工抗体のシグナル伝達阻害薬への応用	薬学部	芝崎 誠司	2,100	630
ベンザイン等の不安定化学種を活用した新規反応の開発とその応用研究	薬学部	吉岡 英斗	1,100	330
X線結晶解析法及びX線溶液散乱法を用いた難分解性動物タンパク質分解機構の解明	薬学部	中野 博明	2,400	720
DNAメチル化をマーカーとした抗うつ薬個別化適正医療の基盤構築	薬学部	南畝 晋平	1,600	480
効果的な腸管運動促進手法の検討	リハビリテーション学部	森沢 知之	1,600	480
入院している小児の転倒・転落防止プログラム改訂版の作成とその効果の検証	看護学部	藤田 優一	2,200	660
計 (42件)			59,100	17,730
			76,830	

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:千円)

助成団体名	研究課題名	所属部局	研究代表者	交付額
日本私立学校振興・共済事業団(学術研究振興資金)	人工抗体Affibodyの分子標的治療薬への応用	薬学部	芝崎 誠司	1,600
財団法人 飯島記念食品科学振興財団(学術研究助成金)	米中のカドミウムを迅速かつ簡便に検出する蛍光プローブの開発	薬学部	塚本 効司	1,400
計 (2件)				3,000

■平成25年度兵庫医療大学入学試験・オープンキャンパス日程

■入学試験

推薦入学試験専願公募制

試験日	平成24年11月3日(土)
募集人員	薬学部 医療薬学科 20名 看護学部 看護学科 30名 リハビリテーション学部 理学療法学科 10名 リハビリテーション学部 作業療法学科 15名
出願期間	平成24年10月16日(火)～平成24年10月25日(木)消印有効

推薦入学試験公募制A日程

試験日	平成24年11月4日(日)
募集人員	薬学部 医療薬学科 15名
出願期間	平成24年10月16日(火)～平成24年10月25日(木)消印有効

推薦入学試験公募制B日程

試験日	平成24年12月1日(土)
募集人員	薬学部 医療薬学科 10名
出願期間	平成24年11月14日(水)～平成24年11月26日(月)消印有効

大学入試センター試験利用入学試験前期日程

試験日	大学入試センター試験日【平成25年1月19日(土)、20日(日)】
募集人員	薬学部 医療薬学科 5名 看護学部 看護学科 5名 リハビリテーション学部 理学療法学科 2名 リハビリテーション学部 作業療法学科 2名
出願期間	平成25年1月10日(木)～平成25年1月30日(水)消印有効

大学入試センター試験利用入学試験後期日程

試験日	大学入試センター試験日【平成25年1月19日(土)、20日(日)】
募集人員	薬学部 医療薬学科 5名 看護学部 看護学科 3名
出願期間	平成25年3月13日(水)～平成25年3月22日(金)消印有効

一般入学試験前期A日程

試験日	平成25年2月1日(金)
募集人員	薬学部 医療薬学科 35名 看護学部 看護学科 57名 リハビリテーション学部 理学療法学科 20名 リハビリテーション学部 作業療法学科 13名
出願期間	平成25年1月10日(木)～平成25年1月24日(木)消印有効 【窓口出願】平成25年1月25日(金)午前9時～午後5時

一般入学試験前期B日程

試験日	平成25年2月2日(土)
募集人員	薬学部 医療薬学科 25名 リハビリテーション学部 理学療法学科 6名 リハビリテーション学部 作業療法学科 8名
出願期間	平成25年1月10日(木)～平成25年1月24日(木)消印有効 【窓口出願】平成25年1月25日(金)午前9時～午後5時

一般入学試験前期C日程

試験日	平成25年2月17日(日)
募集人員	薬学部 医療薬学科 15名
出願期間	平成25年2月4日(月)～平成25年2月12日(火)消印有効

一般入学試験後期日程

試験日	平成25年3月2日(土)
募集人員	薬学部 医療薬学科 10名 看護学部 看護学科 5名 リハビリテーション学部 理学療法学科 2名 リハビリテーション学部 作業療法学科 2名
出願期間	平成25年2月15日(金)～平成25年2月25日(月)消印有効

入試についてのお問い合わせ
入試グループ TEL: 078-304-3030
E-Mail: nyushi@huhs.ac.jp

■オープンキャンパス

8月18日(土)、8月19日(日)、9月1日(土)、9月2日(日)

13:00～17:00(予定)

開催プログラム(予定)

- 大学説明ガイダンス
- 学部学科イベント(体験実習)
- キャンパスツアー
- 在学生との交流コーナー
- 各種 個別相談 など

予約不要!
入退場自由!

オープンキャンパスについてのお問い合わせ

広報・情報グループ TEL: 078-304-3034

E-Mail: kouhou@huhs.ac.jp



■兵庫医科大学病院 運営方針説明会を実施

～大学病院のトップブランドを目指して～

平成24年5月17日、教職員に向けた兵庫医科大学病院の運営方針説明会が実施されました。太城力良病院長より、兵庫医科大学病院の現在おかれている状況や、大学病院のトップブランドを目指すうえで今後取り組んでいくべき事業について説明がありました。大学病院として、また阪神地域唯一の特定機能病院としての社会的使命を果たすため、教職員一同が想いをひとつにする機会となりました。

■学習と成長の視点

良き医療人の育成

職員が笑顔で幸せを感じて働く職場作り

■顧客の視点

職員へのサービス向上

地域社会・患者への貢献

大学病院のトップブランドを目指して

■業務プロセスの視点

安全・安心で質の高い医療の提供

高度・先進医療の研究、実践

■財務の視点

安定した経営基盤の確立



■平成23年度 病院活動費配分

平成23年度の病院各部署の功勞に対し、病院活動費が配分されることになり、平成24年5月17日の運営方針説明会の開催前に、太城力良病院長より該当部署へ感謝状が贈られました。

病院活動費は、稼働率、新患率、手術実績、手術協力、文書作成実績、治験協力などで実績をあげた診療科や病棟に配分されるものです。各部署が明確な目標をもち、目標達成に向けて日々の業務に取り組めるよう、インセンティブとして病院活動費の配分を行っています。

対象項目	病院活動費配分部署名
診療科 稼働率の部	精神科神経科 内科 内分泌・代謝科
病棟 稼働率の部	N I C U
	6東病棟
	10-6病棟
	10-7病棟
	10-8病棟
新患率の部	10-9病棟
	リハビリテーション部 整形外科

対象項目	病院活動費配分部署名
手術実績の部	眼科
	泌尿器科
	外科 乳腺・内分泌外科
	救命救急センター
手術協力の部	看護部 中央手術部
	看護部 アイセンター(8東)
	麻酔科
文書作成 実績の部	内科 上部消化管科 下部消化管科
	整形外科
	眼科
治験協力の部	看護部 外来
	臨床検査部
	薬剤部



地域医療・総合相談センター長 就任のご挨拶



内科学 呼吸器・RCU科
主任教授 中野 孝司

地域医療・総合相談センター長を担当させていただきます中野孝司です。

当センターの主な任務は、特定機能病院の役割である高度先進医療・急性期医療を適切に、滞りなく提供できるようにコーディネートし、最も信頼できる地域医療の拠り所として、その機能を発揮させることにあります。当センターは平成18年1月に設置され、初代には難波光義主任教授が、続いて増山理主任教授がセンター長に就き、診療連携を大きく

推進してこられました。平成24年5月より、浅学ではありますが私が後任として任務にあたらせていただきます。

当センターでは、医師・看護師・ソーシャルワーカー・事務職員が、地域医療機関、保健所、福祉施設などとの連携を密にし、多面的に患者さんの診療支援に関わります。本院は多くのがん専門医が診療・研究をする“がん診療連携拠点病院”でもあり、殆ど全ての癌種の治療を安心して受けていただけます。当センターは本院と地域医療機関や患者さんをつなぐ窓口であり、ご活用いただければ幸いです。

また、平成25年6月に本院は急性医療総合センターを開設し、高度急性期医療の診療体制を拡充致します。診療連携を通じて、特定機能病院、がん診療連携拠点病院の役割をより一層果たして参りたいと存じます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

「看護の日」記念行事

毎年5月12日は、近代看護の祖ナイチンゲールの生誕の日に因み「看護の日」と定められています。この日を含む週を看護週間とし、全国で様々な記念行事が催されています。

本学では、平成24年5月11日に「ふれあい看護体験」と「記念コンサート」を開催しました。

ふれあい看護体験

「ふれあい看護体験」は、一般市民や学生に病院の医療現場をより知ってもらうため、見学や簡単な看護体験をしてもらう企画です。今年は、看護学校受験を目指す2名が内科系の病棟で看護体験をしました。「患者さんからのありがとうという言葉がすごく嬉しかった」「患者さんの様子に目を配り、積極的にコミュニケーションをとりながらも、同時にたくさんの業務をこなしている看護師さんの姿が印象的だった」と、日頃目にしない医療の現場と自分の将来の姿に思いを馳せ、目を輝かせていました。



看護の日 記念コンサート

今年のテーマは「こころまで、見る。」とし、患者さんにやすらぎのひと時を過ごして頂こうと、1号館玄関ホールを会場に琴の演奏会を開催しました。日本当道会からお招きした4人の演奏者による「さくら・21」や「タヤけこやけ変奏曲」など日本の唱歌をアレンジした6曲の演奏に入院患者さん、外来患者さんはじめご家族の方々と職員が心温まる時を共にしました



財団法人兵庫県健康財団 「平成23年度がん予防功労者表彰」

病院病理部 岡村 義弘副主任技師

平成24年5月23日、兵庫県看護協会ハーモニーホールにおいて、財団法人兵庫県健康財団の「平成23年度がん予防功労者表彰」として、病院病理部岡村義弘副主任技師が表彰されました。

これは、多年にわたる細胞診検査業務等を通して兵庫県のがん予防事業の推進に貢献し、県民の医療および健康衛生の向上に寄与したことが評価されたものです。



ささやま老人保健施設 お花見会を開催しました

丹波篠山の桜は、例年4月中頃に満開となり、阪神地域から通勤している職員にとっては、二度も桜の満開を楽しむことができます。

ささやま老人保健施設でも、敷地周辺の桜が満開となり利用者やご家族の方々、そして職員の目を楽しませてくれます。

例年、入所者の方々を対象とした行事として『お花見会』を催していますが、今年はよく晴れた4月15日の日曜日に中庭で開催しました。

ほかほかと暖かい陽射しの中、職員が付き添いながら車椅子が行列になって繰り出し、みんなで満開の桜の前に一列になって『ばんざーい！バンザーイ！』。



そして、みんな笑顔で記念撮影。やはり桜は、人をウキウキさせるようです。外のおいしい空気を吸い、日向ぼっこをして、満開の桜を見て・・・楽しんだのは入所者の方々以上に職員だったのかもしれない。

丹波篠山の広い土地には、あちらこちらに桜が植樹されており、まるで絵画のようです。西宮キャンパス、神戸キャンパスの教職員の方々も、是非篠山に繰り出して桜の満開を二度堪能してみてください。

篠山キャンパス看護の日記念行事

ささやま医療センターでは、平成24年5月9日～15日の「看護の日」週間にポスター展示を行い、5月15日には正面玄関ホールにおいてコンサートを開催しました。

ポスター展示は、患者さんに看護師の仕事を理解していただけるよう、看護師の1日や日ごろ患者さんから頂いたご意見やご要望に対し、各部署が取り組んでいることをポスターにして展示しました。また、今年度入職した新人看護師が作成したポスターでは、一人一人の看護への思いを紹介しました。来院された多くの患者さんやご家族に一枚一枚ゆっくりと見ていただくことができ、看護師の業務をご理解いただけたことと思います。

コンサートは、上谷幸子看護部長の挨拶に始まり、ボランティアグループ「ささゆり」のご支援のもと、音楽療法士の小島幸子氏を迎え、参加者全員で歌を歌い、楽器演奏を行いました。患者さんや併設のささやま老人保健施設の利用者さん全員が一つになって楽しんでいただくうちに、予定の1時間があっという間に過ぎました。



平成 2 3 年度決算について

財務部

平成 2 3 年度は、予算編成方針として

- ①平成 2 1 年度よりスタートさせた、財政基盤改善 3 ケ年計画の最終年度にあたり、事業計画との整合性を保ちつつ、各種施策の優先順位についての査定・選択の歩を進め、限られた資源のなかで健全な資金収支差額及び帰属収支差額を確保する。
 - ②兵庫医科大学、兵庫医療大学の教育・研究の充実、病院診療体制充実の目標に加え、西宮キャンパスの再開発（急性医療総合センター建設等）、西宮キャンパス病院情報システム整備など、多額の財源を必要とする事業を着実に推進する。
- という大きな目標が掲げられ、当初予算がスタートしました。こうした中で、法人が今後計画している諸事業を実行していくためには、帰属収支差額を 2 0 億円以上維持することが不可欠という考え方のもと、最終的に帰属収支差額 2 6 . 8 億円の予算案を決定しました。

このような方針の下、今年度は、西宮本院の病床稼働率が前年度比向上し、診療単価も引続き好調に推移したこと、および経費面の圧縮を更に進めたこともあり、決算は帰属収支差額が 2 5 . 5 億円のプラスと予算未達ながらも、安定的且つ健全な財政基盤確立のための条件である 2 0 億円をクリアするとともに、消費収支差額も 9 . 6 億円と 2 期連続でプラスとなりました。これも、教職員の皆様の予算目標達成に向けた努力の結果です。

消費収支計算書

平成 2 3 年 4 月 1 日から平成 2 4 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生納付金	7,233,285,000	7,154,775,000	78,510,000
手数料	280,275,000	258,823,930	21,451,070
寄付金	1,160,351,000	965,018,016	195,332,984
補助金	2,721,107,000	2,641,604,428	79,502,572
国庫補助金	2,041,068,000	2,100,133,395	△ 59,065,395
地方公共団体補助金	680,039,000	541,471,033	138,567,967
資産運用収入	47,280,000	61,412,623	△ 14,132,623
事業収入	33,681,027,000	33,459,573,526	221,453,474
事業収入	1,264,308,000	1,428,547,860	△ 164,239,860
医療収入	32,416,719,000	32,031,025,666	385,693,334
雑収入	421,193,000	323,357,384	97,835,616
帰属収入合計	45,544,518,000	44,864,564,907	679,953,093
基本金組入額合計	△ 2,439,114,000	△ 1,592,065,601	△ 847,048,399
消費収入の部合計	43,105,404,000	43,272,499,306	△ 167,095,306

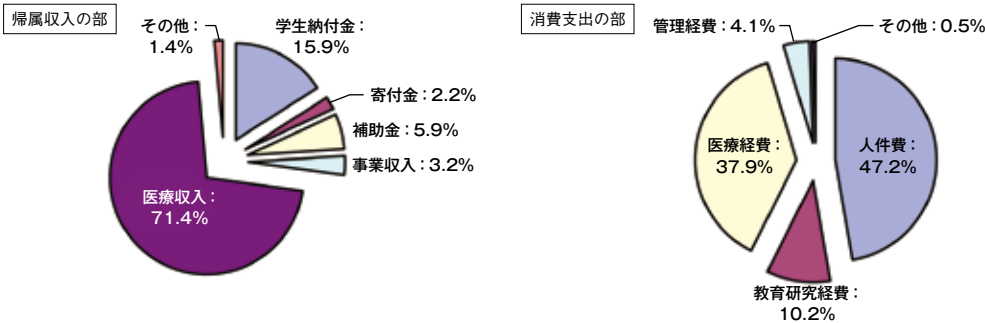
(単位：円)

消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	19,537,007,000	19,991,475,869	△ 454,468,869
教職員等人件費	18,895,131,000	19,439,907,958	△ 544,776,958
退職給与引当金繰入額	598,387,000	455,622,711	142,764,289
退職金	43,489,000	95,945,200	△ 52,456,200
教育研究経費	4,673,821,000	4,299,890,352	373,930,648
医療経費	17,207,611,000	16,043,495,507	1,164,115,493
管理経費	1,005,230,000	1,750,810,058	△ 745,580,058
借入金等利息	69,330,000	65,877,720	3,452,280
資産処分差額	135,000,000	145,602,107	△ 10,602,107
徴収不能額	11,054,000	1,265,112	9,788,888
徴収不能引当金繰入額	20,017,000	14,284,565	5,732,435
[予 備 費]	200,000,000		200,000,000
消費支出の部合計	42,859,070,000	42,312,701,290	546,368,710
当年度消費収入超過額	246,334,000	959,798,016	
当年度消費支出超過額			
前年度繰越消費支出超過額	38,897,606,907	38,897,606,907	
翌年度繰越消費支出超過額	38,651,272,907	37,937,808,891	

収入面で、学生納付金は、兵庫医療大学が開学 5 年目をむかえ、かつ、兵庫医科大学の定員増加（2 1 年度～）で学生数が増加した影響により全体で 7 1 . 5 億円と、対前年度比 3 . 1 億円増でした。医療収入に関しては、本院では、外来収入が 2 . 3 億円、入院収入が 2 . 5 億円増加しました。その結果、医療収入全体は 3 2 0 . 3 億円で前年度比 8 . 1 億円の増です。その他としては、寄付金収入は 9 . 7 億円、補助金収入は 2 6 . 4 億円で、帰属収入全体では 4 4 8 . 6 億円でした。

支出面では、人件費が 1 9 9 . 9 億円、教育研究経費が 4 3 . 0 億円、薬品費、医療材料費等の医療経費が 1 6 0 . 4 億円等で、消費支出合計は、4 2 3 . 1 億円となり、帰属収入から消費支出を差し引く帰属収支差額は、2 5 . 5 億円でした。また、帰属収入から控除する基本金組入額は 1 5 . 9 億円で、その結果、消費収入の部合計では 4 3 2 . 7 億円となり、消費収支差額が 9 . 6 億円と、前年度に引続き消費収入超過となりました。

平成 2 3 年度決算構成比率



資金収支計算書

平成 2 3 年 4 月 1 日から平成 2 4 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生納付金収入	7,233,285,000	7,154,775,000	78,510,000
手数料収入	280,275,000	258,823,930	21,451,070
寄付金収入	1,112,351,000	916,384,379	195,966,621
補助金収入	2,721,107,000	2,641,604,428	79,502,572
国庫補助金収入	2,041,068,000	2,100,133,395	△ 59,065,395
地方公共団体補助金収入	680,039,000	541,471,033	138,567,967
資産運用収入	47,280,000	61,412,623	△ 14,132,623
資産売却収入	1,514,000,000	2,517,108,970	△ 1,003,108,970
事業収入	33,681,027,000	33,459,573,526	221,453,474
事業収入	1,264,308,000	1,428,547,860	△ 164,239,860
医療収入	32,416,719,000	32,031,025,666	385,693,334
雑収入	421,193,000	323,357,384	97,835,616
借入金等収入	1,380,525,000	804,785,026	575,739,974
前受金収入	1,107,708,500	1,077,728,500	29,980,000
その他の収入	5,893,732,073	5,970,316,173	△ 76,584,100
資金収入調整勘定	△ 4,442,068,215	△ 4,721,475,450	279,407,235
前年度繰越支払資金	12,879,623,329	12,879,623,329	0
収入の部合計	63,830,038,687	63,344,017,818	486,020,869

(単位：円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	19,403,167,000	19,954,626,158	△ 551,459,158
教職員等人件費支出	18,895,131,000	19,439,907,958	△ 544,776,958
退職金支出	508,036,000	514,718,200	△ 6,682,200
教育研究経費支出	3,372,306,000	2,975,320,710	396,985,290
医療経費支出	15,513,882,000	14,306,289,593	1,207,592,407
管理経費支出	948,928,000	1,680,089,546	△ 731,161,546
借入金等利息支出	69,330,000	65,877,720	3,452,280
借入金等返済支出	1,599,395,000	1,973,658,549	△ 374,263,549
施設関係支出	2,250,819,000	1,584,537,400	666,281,600
設備関係支出	2,004,425,000	2,426,053,951	△ 421,628,951
資産運用支出	1,714,000,000	2,520,758,095	△ 806,758,095
その他の支出	5,127,459,469	5,098,949,208	28,510,261
[予 備 費]	200,000,000		200,000,000
資金支出調整勘定	△ 5,251,961,182	△ 6,448,354,559	1,196,393,377
次年度繰越支払資金	16,878,288,400	17,206,211,447	△ 327,923,047
支出の部合計	63,830,038,687	63,344,017,818	486,020,869

資金収支計算書については、前年度より繰り越した資金（現金預金）が 1 2 8 . 8 億円でしたが、次年度への繰越資金は、1 7 2 . 1 億円となりました。これは、帰属収支差額が好調に推移していた中、急性医療総合センター建設資金の一部を借入金で補ったこと、期末の未収入金を減少させる施策を行なったこと、通常の設備投資額を抑制したことによるものです。

貸借対照表

平成 2 4 年 3 月 3 1 日

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	55,609,146,782	54,675,336,535	933,810,247
有形固定資産	53,781,037,423	52,984,410,114	796,627,309
土地	15,455,231,332	15,455,231,332	0
建物・構築物	28,801,936,375	29,858,391,267	△ 1,056,454,892
教育研究用機器備品	7,327,937,984	6,358,975,469	968,962,515
図書	934,428,738	1,037,975,477	△ 103,546,739
建設仮勘定	1,016,509,400	102,606,900	913,902,500
その他	244,993,594	171,229,669	73,763,925
その他の固定資産	1,828,109,359	1,690,926,421	137,182,938
教育施設設備等引当特定資産	158,108,333	258,111,346	△ 100,003,013
退職給与引当特定資産	399,783,556	399,783,556	0
その他	1,270,217,470	1,033,031,519	237,185,951
流動資産	21,246,891,042	19,162,766,350	2,084,124,692
現金預金	17,206,211,447	12,879,623,329	4,326,588,118
有価証券	90,680,000	90,680,000	0
その他	3,949,999,595	6,192,463,021	△ 2,242,463,426
資産の部合計	76,856,037,824	73,838,102,885	3,017,934,939

(単位：円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	12,144,127,762	12,563,107,500	△ 418,979,738
長期借入金	5,422,780,000	6,392,425,000	△ 969,645,000
学校債	70,000,000	135,000,000	△ 65,000,000
退職給与引当金	6,021,104,124	5,984,254,413	36,849,711
長期未払金	630,243,638	51,428,087	578,815,551
流動負債	8,750,028,829	7,864,977,769	885,051,060
短期借入金	1,543,335,026	1,612,563,549	△ 69,228,523
学校債	75,000,000	140,000,000	△ 65,000,000
前受金	1,077,728,500	1,105,604,036	△ 27,875,536
その他	6,053,965,303	5,006,810,184	1,047,155,119
負債の部合計	20,894,156,591	20,428,085,269	466,071,322

基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第 1 号基本金	90,789,690,124	89,197,624,523	1,592,065,601
第 4 号基本金	3,110,000,000	3,110,000,000	0
基本金の部合計	93,899,690,124	92,307,624,523	1,592,065,601

消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	37,937,808,891	38,897,606,907	△ 959,798,016
消費収支差額の部合計	△ 37,937,808,891	△ 38,897,606,907	959,798,016
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	76,856,037,824	73,838,102,885	3,017,934,939

※注記 減価償却額の累計額 43,053,851,245円
基本金未組入額 6,071,812,789円

資産のうち固定資産は、有形固定資産及びその他の固定資産合わせて 5 5 6 . 1 億円で、前年度対比 9 . 3 億円増です。これは、急性医療総合センター建設開始に伴う、建設仮勘定の増加が主な要因です。流動資産は、現金預金が 1 7 2 . 1 億円、短期有価証券が 0 . 9 億円等で、2 1 2 . 5 億円です。

負債のうち固定負債は、2 3 年度中に急性医療総合センター建設資金の一部を新規で借入れましたが、学校債を含め、長期借入金の返済を進めており、退職給与引当金を含め 1 2 1 . 4 億円と、前年度比 4 . 2 億円減となりました。流動負債は、8 7 . 5 億円で総負債は、2 0 8 . 9 億円です。

基本金は、当年度に 1 5 . 9 億円の組入れ増加要因があり、基本金の部合計額は、9 3 9 . 0 億円となりました。

※財産目録や財務比率等を含めた事業報告書は、本法人の情報公開規程に従い、西宮キャンパス総務企画部総務課において、開示請求を受付けております。

報道機関等への出演・掲載

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせします。

本学ホームページにも最新情報を掲載しています！

兵庫医大 広報 テレビ放送 検索 兵庫医大 広報 新聞掲載 検索

新聞等掲載記事一覧 http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/newspaper.html
テレビ放送情報一覧 http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/tvinfo.html

テレビ出演情報 4月から5月

放送局／番組	掲載日	関連者	概要
NHK総合／ニュース	4月24日	循環器内科 藤井健一講師	本学にて実施された国内第1例目の腎動脈周囲交感神経焼灼術(難治性高血圧の新治療)の手術の様子や治療などについて。
NHKEテレ／ぎょうの健康	5月14日 再 5月21日	上部消化管科 三輪洋人教授	胃食道逆流症について症状や原因、治療法を説明。
NHKEテレ／ぎょうの健康	5月15日 再 5月22日	上部消化管科 三輪洋人教授	機能性ディスペプシアについて症状や原因、治療法を説明。
テレビ朝日／モーニングバード！	5月21日	循環器内科 藤井健一講師	「アカデミヨシズミ」のコーナーの高血圧がテーマの回で、本学にて国内第1例目の腎動脈周囲交感神経焼灼術(難治性高血圧の新治療)が実施されたことが紹介されました。

新聞・雑誌等 掲載情報 4月から5月

掲載媒体	掲載日	関連者	概要
読売新聞	4月1日	—	「病院の実力」において、脳腫瘍に関する病気の治療実績(2011年)データの掲載。
神戸新聞	4月4日	歯科口腔外科 門井謙典医師	平成24年3月18日開催、「健口ひょうごフォーラム」での講演内容について。
コープ神戸発行 ステーション5月号	4月4日	産科婦人科 小森慎二主任教授	骨粗しょう症の症状や治療について説明。
神戸新聞 産経新聞 日経新聞 読売新聞 時事通信 共同通信 朝日新聞	4月5日	先端医学研究所長 アレルギー疾患研究部門 善本 知広教授らのグループ	花粉症の原因となるたんぱく質を特定した研究の内容について。
朝日新聞	4月27日	泌尿器科 山本新吾主任教授 泌尿器科 白石裕助助教	平成24年4月8日開催の市民公開講座「語ろう！知ろう！みんなの泌尿器科」(日本泌尿器科学会主催)での講演やコメントについて。
コープ神戸発行 ステーション6月号	5月2日	産科婦人科 小森慎二主任教授	骨粗しょう症の症状や治療について説明。(続編)
神戸新聞 朝日新聞 毎日新聞 読売新聞 日経新聞 産経新聞 時事通信 共同通信	5月2日	泌尿器科学 兼松明弘准教授	膀胱の活動が体内時計によって制御されていることを京都大学・兵庫医科大学などの研究グループが突き止めたことについて。
神戸新聞	5月5日	—	兵庫県内の認知症疾患医療センターに指定されている機関として兵庫医科大学病院が掲載。
読売新聞	5月6日	—	「病院の実力」において、不妊治療に関する治療実績(2011年)データの掲載。
毎日新聞	5月7日	兵庫医療大学 松田暉学長	兵庫医療大学ホームページにて配信中の「学長ブログ」をまとめて出版した「心臓外科医の見た医療事情」について。
日経新聞	5月18日	循環器内科 藤井健一講師	本学にて実施された国内第1例目の腎動脈周囲交感神経焼灼術(難治性高血圧の新治療)について。
神戸新聞	5月19日	生理学(生体情報部門) 西崎知之主任教授	「ひょうごの医療」コーナーにおいて、認知機能改善のサプリメントについて。
朝日新聞	5月21日	皮膚科 夏秋優准教授	「体とこころの通信簿」のコーナーにて、虫刺されについての症状や治療について。
神戸新聞	5月21日	呼吸器外科 大類隼人助教	非政府組織(NGO)を通じたハイチ大地震復興支援の活動について。
日経新聞	5月26日	—	兵庫医科大学病院健診センターのプチドックが紹介されました。
毎日新聞折込み (奥様メモ・カレンダー)	5月28日	耳鼻咽喉科 都築建三講師	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、「カビアレルギー」に関する記事を監修。
神戸新聞	5月31日	兵庫医療大学 薬学部 前田真貴子講師	世界禁煙デーの特集記事で、兵庫医科大学にて実施している学生の吸い殻拾い活動を紹介したことについて。

教職員の皆さんへ

広報課では法人全体の報道機関などへの出演・掲載を把握し、ホームページや広報誌を通して皆様にご案内させていただいております。報道機関等から、広報課を介さずに取材依頼や掲載承諾があった場合、お手数をおかけいたしますが総務企画部広報課へご連絡ください。

めざせ医療人！ 授業レポート01 「小児看護援助論 ～調乳・離乳食演習～」 子どもの日常生活の援助技術を磨く

兵庫医科大学 看護学部 看護学科



授業目標

小児看護援助論は看護学部3年生が受講する授業で、地域・家庭で育つ子どもの健全な成長・発達を保证するために必要な基礎知識および日常生活援助の方法の習得などが目標となっています。今回は小児看護援助論のなかの授業「調乳・離乳食の演習」の様子をお伝えします。

演習を通して 子どもの生活を知る

講義室では、生後1か月から1歳までの、新生児や乳児の食事や睡眠、生活の様子をビデオで確認します。

助産/母性・小児看護学実習室では、グループに分かれて調乳・離乳食の演習が行われ、実際にミルクやベビーフードを作って試食をします。調乳では、お湯の温度に注意しながら、ミルクを計量して作ります。また色々な種類のベビーフード、おかゆや茶碗蒸し、シチューなどの離乳食を食べ、味・舌ざわり・見た目等、項目ごとに違いや気づいた点を記録します。

普段、小さな子どもに接する機会が少ないため、みなさん興味深く授業に取り組んでいました。

小児看護援助論の授業は、前期授業が終了する7月末まで続き、子どもの保育・養護に必要な知識や、子どもの病気、その家族への看護援助についてなど、さまざまなことを習得していきます。また看護計画立案のためのグループワークでは、自分の意見を述べるができるようにし、医療現場に出た時に普段接することの少ない子どもにも対応できるよう、学内でしっかりと学習していきます。



めざせ医療人！ 授業レポート02 「症候・病態からのアプローチ」 症候・病態をグループで学ぶ

兵庫医科大学 医学部 医学科



授業目標

「症候・病態からのアプローチ」は第4学年次が対象で、第3学年次に学んだそれぞれの疾患を症候・病態から考える授業です。与えられた症候から各疾患の鑑別診断ができ、なぜその症候がおこるのか病態を説明できるようになること、また検査計画をたて検査結果から最終診断に到達できることを目標としています。

グループで学ぶ

この授業はチーム基盤型学習

Team Based Learning (TBL) という教育手法で行われます。TBLはLarry Michaelsen博士が開発した約30年の実績がある教育手法で、大規模なクラスを6人前後のグループに分け、グループが協動的に課題に取り組むため、従来の講義よりも教育効果が高いとされています。

本学では2010年度「症候・病態からのアプローチ」で初めて導入され今年で3年目となりました。ひとつのユニットはそれぞれ①Phase 1:予習資料にもとづく自己学習、②Phase 2: RAT (Readiness Assurance Test) + feedback (問

題の解説) + アピール(誤答を挽回する機会)、③Phase 3: 応用課題(Paper patientの症例課題)をグループで検討します。すべてのグループワークには点数がつけられ、それを学生同士の相互評価(ピア評価)で補正したものが個人点となり、最後に症例形式の問題でユニット終了試験があります。これを12ユニット(12症候)くりかえすことでCBT・国家試験対策となるだけでなく、paper patient(紙上患者)での検討を重ね、将来の臨床推論のためのトレーニングになっています。

兵庫医科大学開学40周年記念事業募金へのお願いについて

皆様には平素より、学校法人兵庫医科大学の充実発展のために多大なご支援・ご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、兵庫医科大学は本年度開学40周年を迎えることとなり、その記念事業として西宮キャンパスの再開発を実施することといたしております。

この事業の一環として、今回、新教育研究棟の建設を計画し、これまでも増して、より一層の教育、研究、診療等の向上に努力し、社会の公器としての使命を果たしていく所存であります。

この事業遂行のためには、多額の資金が必要であり、本法人においてもその資金の捻出に向けて財政基盤の強化を図り、可能な限りの経営努力を継続しているところでございますが、上記事業を遂行する上での十分な資金の確保には至っていません。

このため、本法人では、本年度より5年間にわたり、教職員はもとより卒業生の皆様、学生保護者の皆様、そして企業の方々に20億円のご寄付をお願いすることといたしました。

社会経済情勢の厳しい折、お願い申し上げるのは誠に心苦しく存じるところではございますが、皆様には何卒、本事業の主旨をご賢察のうえ、特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人兵庫医科大学 理事長 新家 莊平
兵庫医科大学 学 長 中西 憲司

山田繁代人材対策室長が厚生労働大臣表彰を受賞



山田繁代室長（前看護部長）が、平成24年度厚生労働大臣表彰を受賞しました。この賞は多年にわたり看護業務に精励し、また看護の発展向上のために尽力し、他の模範となる方を5年に1度、各都道府県が推薦し、厚生労働大臣が表彰するものです。今回、兵庫県の推薦を受けて山田室長の受賞が決定し、平成24年6月5日、幕張メッセで開催された日本

看護協会総会において表彰式が行われました。

山田室長は昭和49年に兵庫医科大学病院に入職、平成7年に看護部長となり、平成16年から兵庫医科大学病院副院長、平成19年から兵庫医科大学付属看護専門学校（平成21年閉校）学校長を併任されました。看護部長退任後の平成22年からは人材対策室長として、看護師の人材確保に尽力されています。



講演会「東日本大震災に学ぶこれからの危機管理」



関西学院大学
総合政策学部 教授
室崎 益輝 氏



平成24年4月27日、関西学院大学総合政策学部教授の室崎益輝氏をお招きし、平成記念会館にて兵庫医科大学学生や教職員のほか近隣住民の方を対象に、「東日本大震災に学ぶこれからの危機管理」をテーマにご講演いただきました。

室崎氏は「危機管理は健康管理と同じ。日頃より公衆衛生や予防を心がけ、事が起きた後には治療やリハビリを行う必要がある。悲観的に想定し、楽観的に準備することが大事です。」と述べられ、防災や減災、危機管理について身近な出来事を例に話されました。

西宮キャンパス津波災害対策マニュアル

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東日本太平洋沿岸部に津波による大きな被害をもたらしました。また、今世紀前半に起きると予測されている東南海・南海地震が発生すれば甚大な津波災害が危惧されています。

本学、西宮キャンパスも東南海・南海地震が発生すれば揺れによる直接的な影響（被害）のみならず、津波による災害も危惧されることから、「西宮キャンパス津波災害対策マニュアル」を定めました。万一の災害時には患者さん、学生、教職員の安全を確保するために適切な対応ができるよう平時より取り組むこととします。

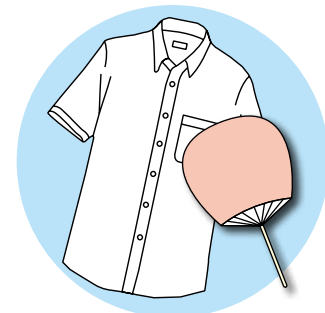


クールビズの実施について

省エネルギー推進のため、平成24年5月1日から10月31日の期間において、教職員のクールビズを実施しています。（平成24年6月1日からはスーパークールビズを実施）

期間中は「ノーネクタイ・ノー上着」など軽装勤務を実施し、臨床現場以外での冷房中室温は28℃を下回らないように取り組みます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



規程等の制定・改正・廃止（規程等の全文は教職員専用ページに掲載）

No.	項 目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
1	学校法人兵庫医科大学受託研究規程	兵庫医科大学と兵庫医療大学で受託研究の取扱いの一元化を図るため、制定。	平成24年5月15日
2	学校法人兵庫医科大学共同研究規程	兵庫医科大学と兵庫医療大学で共同研究の取扱いの一元化を図るため、制定。	平成24年5月15日
3	兵庫医科大学受託研究規程	学校法人兵庫医科大学受託研究規程制定に伴い、廃止。	平成24年5月14日
4	兵庫医科大学共同研究規程	学校法人兵庫医科大学共同研究規程制定に伴い、廃止。	平成24年5月14日
5	兵庫医科大学学則	臨床医学系学科目「臨床核医学」の教員が退職し所属教員が不在となったことに伴い同学科目を廃止することとしたため、改正。	平成24年5月22日
6	兵庫医科大学特命教授設置規程	設置目的等の条文中に教育を含めるため、改正。	平成24年5月22日
7	兵庫医科大学期間契約雇用職員就業規則	平成24年度から非常勤職員就業規則が施行され、週30時間以上勤務の非常勤職員を嘱託職員として取り扱うことになったことに伴い、その運用を規定するため、改正。	平成24年5月22日
8	兵庫医科大学期間契約雇用職員給与規程	同上	平成24年5月22日
9	ささやま医療センター期間契約雇用職員就業規則	同上	平成24年5月22日
10	ささやま医療センター期間契約雇用職員給与規程	同上	平成24年5月22日
11	ささやま老人保健施設期間契約雇用職員就業規則	同上	平成24年5月22日
12	ささやま老人保健施設期間契約雇用職員給与規程	同上	平成24年5月22日
13	兵庫医療大学期間契約雇用職員就業規則	同上	平成24年5月22日
14	兵庫医療大学期間契約雇用職員給与規程	同上	平成24年5月22日
15	兵庫医療大学受託研究規程	学校法人兵庫医科大学受託研究規程制定に伴い、廃止。	平成24年5月14日
16	兵庫医療大学大学院学則	兵庫医療大学看護学研究所・医療科学研究科（修士課程）のカリキュラム改訂に伴い、改正。	平成24年5月22日

■学校法人兵庫医科大学 ■兵庫医科大学 ■兵庫医科大学病院 ■兵庫医科大学ささやま医療センター ■兵庫医療大学